

# 令和6年度 市長と語ろう会の実施報告

## 市長公約

### ビジョンV

#### チャレンジできる街、高知市

市政の意思決定の過程の透明化を進め、住民参加によるまちづくりを目指します。

基本政策149 市民の皆様方の声を聴く機会を増やします。

## 目的

### 「第3期 高知市広聴広報戦略プラン」への掲載事業

広聴広報戦略プランに基づき、市の重点施策や事業について、市民が要望・提案等ができる機会を拡充し、市政に対する関心や理解度の向上を図るとともに、市民とのコミュニケーションの中で、各地域や世代・職業等による個別課題を共有し、市民と行政の協働によるまちづくりを推進する。



## 令和6年度 市長と地域おこし協力隊が語る会

移住者から見た高知市を知るための第1弾企画として、地域おこし協力隊を対象に開催した。なお、「市長と語ろう会」は本来、一般市民等と市長が対話するものであるが、地域おこし協力隊は市の会計年度任用職員となるため、市長と語ろう会の「番外編」として、「市長と地域おこし協力隊が語る会」とした。



テーマ

### 移住者が語る「こうちらいふ」

～地域おこし協力隊編～



参加者

### 高知市に移住した地域おこし協力隊

・吉田友一さん(地域活性推進課・3年目) ・木村誠さん(鏡地域振興課・2年目)  
・伊藤明子さん(地域活性推進課・3年目) ・西條武志さん(地域活性推進課・1年目)



開催概要

### 【日時】

令和7年2月27日(木)  
11時～12時半

### 【場所】

こうちみませ楽舎  
(旧御畳瀬小学校)



### 移住者からみた高知

- 移住者から見た高知の魅力
  - ・他人でも、一度関わると面倒をみてしまう温かい人柄。
  - ・どんなことも楽しもうとする資質がある。
  - ・都会にはない自然が当たり前であり、アクセスも良い。
  - ・新しいことにチャレンジしやすい環境。
- 移住してみて戸惑ったことや残念なところ
  - ・方言が強く、コミュニケーションが取りづらい。
  - ・移住者同士のつながりが少ない。
  - ・地域にコミュニティスペースが少ない。
  - ・就職先が少ない。
  - ・情報発信が不十分で、関心のある層に届いていない。

### 地域おこしに必要なこと

- 地域おこしに対して積極的な人もいれば、そうでない人も一定数いるため、行政だけで行うのではなく、地域に理解してもらった上で、街を挙げて迎える必要がある。
- 地域おこしで地域を疲弊させない。
- 人口減少や高齢化により、何かしたくてもできない地域もある。若年層に住んでもらうために、戻ってきたいと思わせる街にしないといけない。
- 移住関心層に向けた積極的な情報発信と、移住者の受け皿として行政の体制を整える必要がある。
- 移住してくてくれた人をもっと歓迎し、移住者同士がつながりやすくなるために、移住者だとわかるものをプレゼントするなどして、自然と交流が生まれる工夫をしてはどうか。

その他、多くのご意見やご提案をいただきました。今回いただいたご意見やご提案は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。